

2019 年の経済政策

田中 修

はじめに

習近平総書記は 12 月 13 日、党中央政治局会議を開催し、2019 年の経済政策を分析・検討した。また、これに先立ち、11 日には党外人士座談会も開催されている。本稿では、2 つの会議と新華社の解説記事 2018 年 12 月 13 日の概要を紹介する。

1. 党中央政治局会議（12 月 13 日）

今年に入り、錯綜し複雑な国際環境と非常に困難・繁雑で荷が重い国内の改革・発展・安定の任務に対し、我々は 19 回党大会が行った戦略的手配に基づき、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、質の高い発展の要求を実施し、外部環境の深刻な変化に有効に対応し、困難に立ち向かい、着実に政策を実施した。改革・開放は引き続き深化され、各マクロ・コントロール目標は、かなり好く達成できる。3 大堅塁攻略戦は良好なスタートを切り、サプライサイド構造改革が深く推進され、人民大衆はより多くの実際の恩恵を得て、経済の持続的で健全な発展と社会の大局的安定を維持し、第 1 の百年奮闘目標の実現に向けて新たな歩みを踏み出した。

2019 年は新中国成立 70 周年であり、小康社会の全面的実現という第 1 の百年奮闘目標を全面的に実現・決勝するカギとなる年である。2019 年の経済政策をしっかりと行うには、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想を導きとし、「五位一体」の総体的手配を統一的に企画・推進し、「四つの全面」の戦略的手配を協調的に推進しなければならない。安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、新発展理念を堅持し、質の高い発展を推進することを堅持し、サプライサイド構造改革を主線とすることを堅持し、市場化改革の深化・ハイレベルの開放拡大を堅持しなければならない。現代化された経済システムの建設を加速し、3 大堅塁攻略戦を引き続きしっかりと戦わなければならない。ミクロ主体の活力を奮い立たせることに力を入れ、マクロ・コントロールを刷新・整備し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止政策を統一的に企画・推進し、経済運営を合理的区間に維持しなければならない。雇用・金融・対外貿易・外資・投資・予想を一層安定させ、市場のコンフィデンスを奮い立たせ、人民大衆の獲得感・幸福感・安全感を高め、経済の持続的で健全な発展と社会の大局的安定を維持して、小康社会の全面的実現の手仕舞いのために決定的な基礎を打ち立て、卓越した成績で中華人民共和国成立 70 周年を慶祝しなければならない。

国際環境と国内条件の変化に弁証的に対応し、憂患意識を増強しなければならない。引

き続き、わが国発展の重要な戦略的チャンスの時期をしっかりと把握し、これをうまく用いて、自信を確固とし、主動権を掌握し、自身の事柄を断固としてしっかり行わなければならない。

戦略的にぶれない力を維持し、安定的で着実な実施を重視し、協調的な組合せを強化し、主要な矛盾に焦点を絞り、テンポ・程度をしっかりと把握し、最も優れた政策の組合せと最大の全体効果の実現に努力しなければならない。

2019 年は、3 大堅塁攻略戦を引き続きしっかりと戦い、既に確定した行動方案に基づき、際立った問題に対して重点戦役をしっかりと戦わなければならない。

製造業の質の高い発展を推進し、先進製造業と現代サービス業の深い融合を推進する。

強大な国内市場の形成を促進し、国民経済の全体水準を高める。

農村振興戦略を着実に推進し、「三農」発展が持続的に好い方向に向かう情勢を強固にする。地域の協調的発展を促進し、各地方の比較的優位性をしっかりと発揮させる。

経済体制改革を加速し、全方位の対外開放を推進する。

民生の保障・改善を強化し、人民大衆の不満が強烈な際立った問題をしっかりと解決することに力を入れる。

経済政策をしっかりと行うには、経済政策への党の指導の能力・水準を高めなければならない。党中央の集中・統一的な指導を強化し、幹部が責任を担い成果を出すことを奨励し、学習と調査研究を強化し、党中央の方針・政策と施策手配を創造的に貫徹・実施しなければならない。

2. 党外人士座談会（12 月 11 日）

習近平総書記が主催し、共産党側は、李克強・王滬寧・韓正が出席¹、李克強総理が 2018 年の経済政策に関連する状況を報告し、2019 年の経済政策に関する党中央の考慮を紹介した（新華社北京電 2018 年 12 月 13 日）。

習近平総書記の重要講話の概要は、以下のとおりである。

40 年来、改革・開放は世の中が注目する偉大な成果を上げた。この成績を取得したことは、中国共産党の堅固な指導と不可分であり、各民主党派・工商聯・無党派人士が広大な構成員と連携する大衆を積極的に誘導し、改革の実際行動に積極的に身を投じたこととも不可分である。

今年は、第 19 回党大会精神のスタートの年であり、わが国の発展プロセスにおいて極め

¹ ほかに、丁薛祥党弁公庁主任、劉鶴副総理、胡春華副総理、王勇国務委員、肖捷国務院秘書長、何立峰国務院発展・改革委員会主任が出席している。

て平凡ならざる 1 年であった。錯綜し複雑な国際環境と非常に困難・繁雑で荷が重い国内の改革・発展・安定の任務に対し、党中央は第 19 回党大会が行った戦略的手配に基づき、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、新発展理念を貫徹し、質の高い発展の要求を実施し、サプライサイド構造改革を主線とし、外部環境の深刻な変化に有効に対応し、改革・開放の歩みを加速し、困難に立ち向かい、着実に政策を実施して、経済の持続的で健全な発展と社会の大局的安定を維持した。

2019 年の経済政策は、「新時代の中国の特色ある社会主義」思想を導きとし、「五位一体」の総体的手配を統一的に企画・推進し、「四つの全面」の戦略的手配を協調的に推進しなければならない。安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、新発展理念を堅持し、質の高い発展の推進を堅持し、サプライサイド構造改革を主線とすることを堅持しなければならない。引き続き 3 大堅塁攻略戦をしっかりと戦い、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止政策を統一的に企画・推進し、人民生活を不断に改善し、経済の持続的で健全な発展と社会の大局的安定を維持しなければならない。

積極的財政政策と安定的な金融政策を引き続き実施し、改革に向けた原動力を堅持し、社会政策の最低ライン保障機能を強化しなければならない。

サプライサイド構造改革を断固として深化させ、改革・開放の方法をより多く採用し、市場化・法治化の手段をより多く運用して、より着実な成果を不断に獲得しなければならない。

各民主党派、工商聯と無党派人士は、小康社会の全面的実現のために計を献じ力を発揮して、2019 年の経済政策に関する党中央の政策決定・手配に基づき、サプライサイド構造改革の深化、経済の質の高い発展の推進、3 大堅塁攻略戦に打ち勝つ等の重大問題を軸に、実情を調べ、建言・忠言を行い、良策を献じることを希望する。

皆さんは、民主監督機能をしっかりと履行し、積極的に建言・献策を行わなければならない。

思想誘導をしっかりと行い、広大な構成員と連携する大衆を誘導し、改革・開放 40 周年が得た巨大な成果と貴重な経験を十分認識させ、改革・発展において直面する矛盾・困難に客観的に対応させ、断固として改革を徹底的に進めなければならない。

党と政府が協調関係をしっかりと進め、情緒を正常化し、矛盾を解消する手助けをし、社会の調和・安定を擁護して、改革の全面深化・経済社会の持続的で健全な発展のために、良好な社会的雰囲気を作り上げなければならない。

3. 「中央政治局会議は、2019 年の経済政策の 5 つのシグナルを伝達した」(新華社北京電 2018 年 12 月 13 日)

概要は以下のとおりである。

（１）「５つの堅持」「６つの安定」という経済政策の方向をデザインした

会議は、「安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、新発展理念を堅持し、質の高い発展を推進することを堅持し、サプライサイド構造改革を主線とすることを堅持し、市場化改革の深化・ハイレベルの開放拡大を堅持しなければならない」、「雇用・金融・対外貿易・外資・投資・予想を一層安定させなければならない」と強調している。

①中国国際経済交流センター学術委員会 王軍委員：

「５つの堅持」と「６つの安定」は、2019年のわが国経済政策の主要方向をデザインしたものである。とりわけ、改革・開放40年の際に、経済体制改革の加速、全方位対外開放の推進を強調し、市場化を取るべき改革の方向とすることを堅持する旨を再度述べたことは、重要な意義を有している。

②国務院発展研究センター 張軍拡副主任：

複雑な局面に対し、カギは断固として改革を深化させ、開放を拡大し、質の高い発展の推進に資する体制・環境の整備に力を入れなければならないということである。

③アナリスト：

2019年の政策重点は、１）引き続き民営企業の発展支援であり、金融の可及性を高め、各種負担を軽減すること、２）国有企業改革を深化させること、３）引き続き、実体経済への金融のサービス能力を増強すること、である。

（２）国際環境と国内条件の変化に弁証的に対応する

①国務院発展研究センター 張軍拡副主任：

2019年及び将来一時期の内外発展環境を展望すると、総体として下振れ圧力が増大し、不確定性がより多くなり、リスク・試練がより複雑な局面を呈している。

②中国国際経済交流センター学術委員会 王軍委員：

わが国がなお発展の重要な戦略的チャンスの時期にあるという中央の判断が変わっていないことは、強大な戦略的にぶれない力と発展への自信の現れであり、憂患意識を増強し、直面する困難・試練についてはっきりとした認識をもち、危機をチャンスに変え、一層の改革・開放を通じて存在する問題を解決しなければならない。

③中国国際経済交流センター 張燕生首席研究員：

当面のカギは、経済運営の主要な矛盾に焦点を絞り、マクロ政策の統一的な企画・協調を強化し、政策の合成力を形成し、政策の不協調、テンポ・程度の未掌握を回避し、経済運営のために良好な予想を作り上げなければならない。

（３）製造業の質の高い発展を推進する

①工業・情報化部 辛国斌副部长：

現在、わが国の製造業が大きいが強くないという問題は、依然際立っている。「ブレークスルー」と「向上」で同時に力を発揮し、新興産業の育成と伝統産業の改造・グレードア

ップを頭を並べて進め、製造業の質の高い発展を推進しなければならない。

②工業・情報化部 王新哲総経済師：

「行政の簡素化、権限の下方委譲、サービスの最適化」改革を一層深化させ、業種管理方式を刷新し、実施中・事後の監督管理を強化し、大中小企業の融和した発展を奨励しなければならない。工業の研究開発・投資・技術改造の政策環境整備を促進し、企業の税費用負担を一層引き下げなければならない。人材育成を加速し、労働模範精神と匠の精神を発揚し、イノベーション駆動の発展を大いに推進し、発展の余地開拓に努力しなければならない。

（４）強大な国内市場の形成を促進する

①中国マクロ経済研究院 王蘊研究員：

制度改革・技術革新・製品革新により、新供給を育成・形成し、かなり強い成長牽引力を備えた消費の新たな成長スポットを形成し、消費の質向上・グレードアップを不断に推進しなければならない。

②アナリスト：

農村振興によって巨大な発展の空間をこじ開け、地域の協調発展を通じて、経済の空間配置を最適化することにより、わが国の発展の強靱性はより強力となる。

（５）人民大衆の不満が強烈な際立った問題の解決に力を入れる

①人力資源・社会保障部 張義珍副部長：

今年に入り、わが国の雇用情勢は総体として安定を維持している。これと同時に、内外の不安定・不確定要因が増大し、一部企業の生産経営と雇用にいくらかの影響をもたらしている。更にこれに、雇用分野固有の総量圧力と構造的矛盾が加わり、質の高い就業・自主起業に対する労働者の需要は日増しに増加しており、一層政策を強化し、措置による保障を整備しなければならない。

②アナリスト：

民生の保障・改善を 2019 年の重点政策の 1 つとすることは、2019 年、雇用・医療・養老・住宅・社会保障等の民生重点分野でより多くの実質的政策が打ち出され、庶民の福祉を確実に増やすことを意味する。

③中国政法大学法学院 焦洪昌院長：

民生政策をしっかりと行うことは、人民大衆の獲得感・幸福感・安全感を強めることができるだけでなく、社会の安定擁護に資するものであり、わが国の発展のために良好な社会環境を提供することになる。

④専門家：

会議は、経済政策をしっかりと行うには、経済政策への党の指導能力・水準を高めなければならないと強調したが、この点は十分重要である。党中央の集中・統一的な指導を強化

し、幹部が責任を担い結果を出すことを奨励し、学習と調査・研究を強化し、党中央の方針・政策と施策手配を創造的に貫徹実施してはじめて、2019年の経済政策を確実にしっかり実施し、小康社会の全面的建設の手仕舞いのために、決定的な基礎を打ち立て、中華人民共和国成立 70 周年を卓越した成績で慶祝することができるのである。(12 月 18 日記)